

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (近畿)	良く なっている	百貨店（売場マネージャー）	単価の動き	・販売商品のなかで、高級ブランドの売上がアップしている。特に、宝飾品、時計、高額バッグなどの動きが目立っている。富裕層にはプチパブル的な要素を感じるが、総額で見ると全体に占めるシェアは上がっており、平均単価も上昇している。
		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・株価の上昇に伴い、販売数量の増加もさることながら、美術品や宝飾品などの高額商品が好調に売れている。
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・今までしばらくの間、購買が止まっていた客からも、高級ブランド品の引き合いが出てくるようになり、消費マインドの向上の広がりを実感している。
		住関連専門店（店員）	お客様の様子	・新生活関連の需要で、入店客数、買上率、単価が改善している。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・2月の売上に比べて10%以上増えており、好調である。
		都市型ホテル（客室担当）	単価の動き	・宿泊については、外壁改修工事などで使用できない部屋がありながらも、落ち込みを抑えられている。また、今月は謝恩会の時期でもあり、宴会が前年比で130%と好調である。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・先月に引き続き、加入申込は順調な伸びを示している。関連して販売しているスマートフォン契約も、3月は先月と比べて200%近く増えている。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	単価の動き	・来客数を短期間で増やすことは難しいため、顧客のリピート率の向上と、買上点数や単価の改善に取り組んできた結果、客単価が上がってきている。来客数の変化は少ないが、売上も増えてきている。
		一般小売店〔食料品〕（管理担当）	販売量の動き	・新商品が出たため、売上が伸びている。商品の袋に、いつもありがとう、感謝しています、ご苦勞さまで、といった言葉が入っていて贈答用に喜ばれており、袋の色もきれいなので売れている。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・客は欲しい物があれば買うが、依然として財布のひもが固い。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	お客様の様子	・具体的な動きはないが、全体の雰囲気は少しにぎわってきている。
		一般小売店〔花〕（店長）	販売量の動き	・3月は花の動きは好調である。年度末で売上がアップしており、送別や卒業、入学で4月前半までは伸びる。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・悪くはないが、景気が上向きという割には大きな伸びはない。高額品をあまり展開していないほか、食料品の割合が50%ということもあり、売上は昨年を若干下回る水準である。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月は売上目標を達成予定である。商材によって好不調があり、すべてが好調ではないものの、以前よりも高額品やカジュアルアイテムなど、動きが良くなっている商品が増えている。不要不急の商品に対する購買は依然慎重であるものの、景気上昇の期待感から、少し財布のひもが緩んでいる感がある。
百貨店（売場主任）	販売量の動き	・気温が上がってこないにもかかわらず、高額品を中心に好調な推移となっている。ただし、入店客数は前年を上回っているが、ファッション衣料や雑貨の動きはいまだに厳しい。		
百貨店（売場主任）	販売量の動き	・株価上昇に伴う資産効果などによる高額品の好調に加え、ファッション衣料においても今年のトレンド商材のカラーや柄パンツ、スプリングコート、ニットが好調に推移するなど、購入意欲が感じられるようになってきた。店全体の売上も2か月連続で前年を上回り、入店客数も前年並みにまで回復している。		
百貨店（企画担当）	お客様の様子	・株価の上昇をはじめとしたアベノミクスの効果から、特に海外特選ブランド品などが好調で、業績をけん引している。		
百貨店（企画担当）	単価の動き	・先月に引き続き、高額商品の動きが良い。円安による特選ブランド品の値上げが相次ぐなか、値上げ前の購買が多く、売上が倍になっているブランドもある。高級時計の動きも良い。		
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・暖かくなり始めた3月中旬から、輸入ブランド品の値上げ前の駆け込み需要もあり、週末の売上は良くなってきている。特に、富裕層の固定客による店頭での買上が伸びている。		

百貨店（営業担当）	来客数の動き	・天候不順により衣料品の動きは鈍いが、食品は好調に推移している。また、高級和食レストランが今までになく好調である。
百貨店（店長）	来客数の動き	・3月になり、一つの潮目が変わったように来客数が増えているほか、購入金額も増えつつある。
百貨店（外商担当）	単価の動き	・高額品（時計）の動きが少し良くなってきている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・衣料品の季節商材が好調で、前年比5%以上の伸びとなり、食料品もほぼ前年並みと堅調に推移している。全体としてもほぼ前年の水準となっており、特に新入学や花粉対策関連など、必要性の高い商品が好調である。
スーパー（店長）	お客様の様子	・来客数は増えていないが、客単価に上昇傾向がみられる。
スーパー（店長）	来客数の動き	・衣料品、住居関連商材の売上が前年比で2けた増となり、食料品も前年並みを維持している。
スーパー（広報担当）	販売量の動き	・気温が大幅に上昇したことが要因であるが、衣料品を中心に春物商品や花粉対策商品が好調である。ただし、食料品を中心とした日用品については、価格志向が強い傾向が続いている。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・季節的にも良くなってきているが、周りの環境がテナントの入替えやマンションの建設で変化しているため、来客数がそれほど伸びていない。店を10年以上営業しているが、再び認知度を上げるために、本部のサービス品などのチラシ配りを続けている。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数にあまり変化はないが、相変わらずファストフードの売上が好調で、客単価を押し上げている。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・向かい側の飲食店が改装中のため、一時的に販売が伸びている。
家電量販店（経営者）	お客様の様子	・消費税の増税を前に、大型家電商品の動きが良くなっている。住宅にまつわる大口需要も多く、客には増税前に大きな買物をしておこうという志向がみられる。
家電量販店（企画担当）	お客様の様子	・アベノミクス効果で給料のアップが各地で始まり、消費意欲の高まりが感じられる。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・3月は年度末ということで販売促進を行っている影響もあるが、アベノミクス効果もあって自動車販売が好調である。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・客の動きが3か月前と比べて活発になってきているのは確かであるが、財布のひもはまだ固い。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・決算の時期なので、客の購買意欲も高く、受注は前年の90%を超えている。
乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・アベノミクス効果による株高・円安で、客と話をしても購買意欲が高まっていると感じる。
住関連専門店（店長）	お客様の様子	・こちらから声をかけなくても、客の方から声がかかって商談に入るケースが増えており、客の購入意欲を感じる。
その他専門店〔宝石〕（経営者）	お客様の様子	・最近の円安と株高傾向のおかげで、客の購買意欲の面でプラスとなっている。その上、金の価格が高止まりしているため、今後も現在の状態が続く。
その他専門店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・関西では花粉の飛散量がかなり多かったように思われ、その結果、マスクや目薬をはじめとする医薬関連商品の動きが活発であった。買上点数も減らずに、客単価を底上げしている。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・今月に入り、ランチ、ディナー共に連日満席状態で、特にランチはものすごい状況となっている。夜も年度末の打ち上げなどで、貸切りも多い。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・平日、特に週の前半（月～水曜日）の来客数が、わずかではあるが増加傾向にある。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・2、3月とも来客数が前年を上回っている。メニューの戦略もあるが、客単価も前年を上回り、回復をうかがわせる状況である。
一般レストラン（店員）	来客数の動き	・春休み期間となり、来客数は増えている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・個人的な付き合いのある大きな団体が何組か来店したので、3か月前に比べると良い傾向にある。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・新政権になってからの経済政策に非常に期待する声は大きいですが、現実はまだその波は押し寄せてきていない。

観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・家族連れの利用が増えている。観光シーズンということもあり、団体で動くことの多い季節であるため、消費は増加傾向にある。
観光型旅館(団体役員)	来客数の動き	・昨年10月以降、宿泊人員は前年比でわずかであるが増加傾向にある。ただし、一昨年と比較すると、まだまだ回復はみられない。
都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・宴会、宿泊共に、数か月前や前年と比較して売上が増加しており、景気は上向き傾向となっている。
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宿泊は、中国人の団体客が皆無の状況が続いているが、国内の個人客の動きが活発化している。単価は上がらないが、ビジネス客や観光客の利用も前年より伸びている。一方、宴会やレストランは前年並みで推移しており、特に法人需要は経費削減の継続で、予約はするが前年よりも安くという傾向が強い。
都市型ホテル (マネージャー)	来客数の動き	・客室部門は、先月に引き続き海外からの観光客が大幅に増加しており、稼働率のアップに貢献している。食堂部門も、高額店舗を含めて全店とも堅調に推移しているが、宴会部門は他部門ほどの伸びがみられない。
都市型ホテル (総務担当)	来客数の動き	・宿泊稼働率が高くなっており、ほぼ満室の状況が続いている。また、宴会の予約件数も増加しており、全般的に景気が上向いてきたことを実感している。
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・韓国向けの予約が完全に戻らず、中国向けも以前の2～3割という水準であるが、海外の長距離方面や、そのほかのアジア方面が活発に動き、金額では昨年を上回っている。
旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・価格よりも質重視の旅行が増えている。
タクシー運転手	競争相手の様子	・年度末であることや、金融政策がうまくいっていることで、好調となっている。
タクシー運転手	お客様の様子	・流し営業での客の乗車機会が確実に増加傾向にある。ここ数か月は実車率が向上しているため、1日の売上目標がさほど苦労なく達成できている。
通信会社(経営者)	お客様の様子	・実質的な変化はまだであるが、良くなってくるのではないかと期待感から、多少は積極的な投資への変化もみられる。
通信会社(社員)	販売量の動き	・3か月前に比べるとやや良いものの、前年に比べると、販売状況は悪い。
テーマパーク (職員)	来客数の動き	・新しいアトラクション施設のオープンに併せて、入場料の割引サービスを始めたことが、今のところは集客増につながっている。入場者の増加と割引による減益の差引きは、もう少し時間をかけてみなければならぬ。
観光名所(経理担当)	来客数の動き	・3月中旬に施設の一部をリニューアルオープンして以降、前年を上回る来場者数となっている。
パチンコ店(店員)	来客数の動き	・来客数が増えている。
競艇場(職員)	単価の動き	・今月の購買単価が前月、前々月と比較して下げ止まり傾向にあり、上昇に転じている。
美容室(店員)	販売量の動き	・パーマやカラーの複合メニューをオーダーする客が増えている。
その他サービス [コインランドリー](経営者)	来客数の動き	・季節の変わり目や花粉対策などで、乾燥機の利用頻度が増えている。
その他サービス [保険代理店](経営者)	お客様の様子	・政権が交代して次々に出される政策について、国民も肯定的に受け止め、自らもこの流れに乗っていかうとする姿勢が景気浮揚へつながっている。
住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・流通物件への問い合わせが明らかに増えている。客の購買意欲も以前より高まってきたと感じる。
住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・販売中であったマンションのモデルルームへの来場数が3月に入って急に増加しており、それにあわせて供給数を増やしたが、完売となっている。
住宅販売会社 (総務担当)	販売量の動き	・前年や3か月前よりも不動産の購入申込が多く、アベノミクスの効果や消費増税前の駆け込み需要がみられる。
その他住宅[展示場](従業員)	お客様の様子	・住宅展示場の来場者アンケートの内容をみると、具体的な建築計画があるという客が増加している。

	その他住宅 [情報誌] (編集者)	お客様の様子	・新築マンションでは、これまで動きが鈍かった高額物件、中でも1億円を超えるような富裕層向け住戸の契約数がここへきて伸びている。株価高騰などの影響により、不動産価格の一部に割安感が生まれている様子である。全体的な売行きも好調な状況が続いている。
変わらない	商店街 (代表者)	お客様の様子	・雰囲気的には明るい感じがあるが、まだまだ日用品の動きには反映されていない。
	商店街 (代表者)	お客様の様子	・週末の入出の引きが相変わらず早く、特に夜7時以降はさっぱりである。
	一般小売店 [精肉] (管理担当)	来客数の動き	・一般小売店の来客数は減少傾向にあるが、外食などの利用は、会社扱いも含めると少しは良くなっている。ただし、トータルで見るとお金を使う場所が変化しているだけで、全体的な景気の拡大を実感できるものではない。
	一般小売店 [菓子] (経営企画担当)	販売量の動き	・3月現在と12月の売上前年比を、各地区別に上位5店舗の平均で見ると、関西は3月が88.0%で、12月が96.8%、関東は3月が93.9%で、12月が108.0%、中部は3月が99.9%で、12月が97.9%、中国は3月が100.9%で、12月が99.2%となり、各地区合計の平均は3月が93.5%で、12月が99.4%である。先月同様、3月になっても依然低迷が続いており、全体的な回復傾向に転じることはもちろん、前年並みに回復することさえ難しい。
	一般小売店 [衣服] (経営者)	来客数の動き	・消費者の様子をみると、少しずつではあるが、購買意欲が上がってきているように感じられる。ただし、来客数が目立って増えているわけではない。景気が上向いている実感が出てくるのは、まだ先のような気がする。
	一般小売店 [野菜] (店長)	来客数の動き	・まだまだ客の購買意欲が上がってこない。
	一般小売店 [菓子] (営業担当)	販売量の動き	・今月も販売量が芳しくない状況は変わらないため、来月に期待したい。
	百貨店 (売場主任)	来客数の動き	・売上品目や販売数量などは、安定期とはレベルの差がある。特に、季節品や高額品はまだ低調であるが、消耗品や食料品などは比較的好調である。
	百貨店 (サービス担当)	お客様の様子	・今月は新生活応援フェアなど、定価品の強化策を中心に展開を行ったところ、来客数が前年よりも約5%減で推移している。四国4県の物産催事は好調に推移したが、売上全体をかさ上げするほどの効果にはつながらっていない。
	百貨店 (商品担当)	販売量の動き	・全体的に催事やセールは好調であるが、定価品の動きは鈍い。
	百貨店 (販促担当)	来客数の動き	・来客数、客単価共に大きな変動はない。一部の高額商品に動きはあるが、全体を押し上げるまでには至っていない。必要な物や本当に欲しい物など、慎重な購買行動が続いている。
	スーパー (経営者)	単価の動き	・3月に入って卒業や入学と、お金が必要な季節となっているため、少しでも単価の安い物や買い得品など、金額の低い商品の動きが中心となっている。
	スーパー (経営者)	来客数の動き	・アベノミクス効果は一般消費者の日々の消費には全く及んでいない。価格に敏感な客向けに投入した低価格商品が、これまで良い物を買っていた客に予想以上に売れているほか、特売時にまとめ買いを行う傾向にあった高齢者も必要以上の物を買わないなど、節約志向は相変わらずである。来店日も、特売初日に集中する傾向が更に強まっている。
	スーパー (店長)	単価の動き	・春の新生活や、新学期の準備品の動き自体は悪くないが、通常の食料品、消耗雑貨に関しては、非常に販売価格が厳しい。食品では単価や買上点数の悪化傾向が続いている。
スーパー (経理担当)	販売量の動き	・アベノミクス効果により、日常的な商品の購入が顕著に上向くまでには至っていない。ただし、消費増税決定後の落ち込みから、横ばいにまで持ち直してきた感はある。	
スーパー (販売担当)	お客様の様子	・客の様子をみていると、クーポンの何倍サービスや、何%引きといった特典のある日をよく調べて、それを利用して少しでも安く買う動きが目立っている。	

スーパー（開発担当）	販売量の動き	・客は必要最小限の物しか購入しないような気がする。販売量は前年比で80%どまりである。
スーパー（社員）	来客数の動き	・先月から今月にかけて、気温や天候が目まぐるしく変化している。新しく開設した店舗やイベントを実施した店舗は集客できているが、通常日は昨年よりも来客数が少ない店舗が多い。
コンビニ（広告担当）	来客数の動き	・まだ消費者の動向に変化は出ていない。夏場から下半期にかけてではないかと思う。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・来客数はあまり変わらないが、買うつもりで来店する客が徐々に増えている。実売に大きな変化はないが、客との会話で成立する割合が上がっている。
衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・客が買い控えをしている。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・3月もハイブリッド車がよく売れている。ただし、3週目を過ぎてからは来客数も少なく、受注量も減ってきている。
その他専門店【食品】（経営者）	販売量の動き	・販売量は前年と変わらない。
その他専門店【スポーツ用品】（経理担当）	販売量の動き	・アベノミクスの効果は、実際はまだ消費にまで回っていないように感じる。
その他専門店【宝飾品】（販売担当）	お客様の様子	・支払がローン扱いでも購入品は高額ではない場合が多い。無理のない支払金額での購入が多い。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・当店は客の年齢層が高いため、暖かくなると近隣の商店街も人通りが多くなり、来客数も伸びる。ただし、全体的な売上に変化はないが、今月は夜の来客数が伸びておらず、特に家族での来客が少ない。世間ではアベノミクス効果といわれているが、まだ一般消費者までは効果は広がっていない。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・景気回復の報道をよく耳にするようになったが、飲食業界ではまだまだ厳しい。しかし、高単価でも気軽に利用できる飲食店の来客数が増えているなど、新しい流行が生まれると、飲食業界の動きが活発になってくる。
一般レストラン（経理担当）	お客様の様子	・企業に比べて、個人客はやや動きが良くなってきたが、全体的にはまだ景気が回復したとはいえない。来客数は前年比でプラスになっているが、客単価は低いまま推移している。
その他飲食【コーヒーショップ】（店長）	来客数の動き	・政権交代後、期待感はいろいろな場面で見受けられるが、来客数などの実際の店舗利用状況からは変化が感じられない。
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・昨年と比較すると、宿泊者及び日帰り温泉利用者共に1割ほど増えているが、2、3か月前と比較すると、客単価はほぼ横ばいとなっている。
旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・世の中の雰囲気として、景気が良くなっている気はするが、実感が伴わないという客が多い。ゴールデンウィークの販売状況も、日並びの影響もあるかもしれないが、前年を割り込んでいる。
タクシー運転手	来客数の動き	・駅周辺で客待ちをしていますが、それほど変化はない。雨などの突発的な状況以外は、いつもとあまり変わらない動きというのが、現在の状況である。
タクシー運転手	お客様の様子	・街の人の流れが良くなっているように感じる。
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・状況が改善する材料がない。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・アミューズメント施設向けゲーム機器の販売状況が改善していない。
その他レジャー施設【イベントホール】（職員）	お客様の様子	・各イベントの入場者数には、これといった変化はみられない。レストラン、売店などの状況にも特に大きな変化はないが、若干ではあるものの、売上が上向いている。
その他レジャー施設【飲食・物販系滞在型施設】（企画担当）	来客数の動き	・来客数は前年比で数%のプラスとなっている。消費額では大きな上ぶれはみられず、今のところは天候要因による影響が大きい。
美容室（店長）	販売量の動き	・セット販売を行っている化粧品の売行きが鈍っている。

	その他サービス 〔ビデオ・CD レンタル〕（エ リア担当）	販売量の動き	・書籍、文具の物販売上が徐々に伸びてきているもの の、レンタル売上は依然前年割れが続いている。	
	住宅販売会社 （従業員）	それ以外	・新政権発足後、円安、株高傾向が継続しているもの の、各企業が積極的な活動を行うようになっているわ けでもなく、特段の変化はない。	
	その他住宅投資 の動向を把握で きる者〔不動産 仲介〕（経営 者）	それ以外	・メディアで取り上げられている賃上げや物価目標の 話は良いが、その反面で円安による悪影響も出てきて いる。身の回りの景気には、あまり変化は感じられな い。	
やや悪く なっている	一般小売店〔珈 琲〕（経営者）	販売量の動き	・全般的に買い控えが進んでいるのか、伸び悩んでい る。	
	一般小売店〔時 計〕（経営者）	来客数の動き	・3月に入ってからの気温の大きな変化が影響してい るのか、来客数が全く伸びていない。年配の人は外出 を控え、若年層はキャッシュバックを含む春の大型イ ベントを行っている商業施設に出かけている。卒業や 入園、入学などの華やきが全くみられず、店の前をみ てもひっそりしている。	
	一般小売店〔鮮 魚〕（営業担 当）	それ以外	・3か月前と比べると、売上が3%減少している。	
	スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・来客数の前年比が既存店ベースで96%となっており、 それに伴って業績も悪化傾向となっている。	
	衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・3月に入ってから、単価の安い商品しか動かなくな った。昨年は3,900円で売っていた商品が、3,000円 に下げなければ売れない状況になってきている。	
	競輪場（職員）	単価の動き	・今月の客単価は9,430円で、3か月前は9,902円であ った。アベノミクスの効果は一部の投資家や企業にと どまっているのか、消費者にまで行き届いていない。	
	悪く なっている	-	-	-
企業 動向 関連 (近畿)	良く なっている	化学工業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・前月末から急に注文が入り始め、製造能力を超える 注文で、ほぼ毎日多くのメンバーが数時間の残業を行 わなければならない状況になっている。
		金属製品製造業 （管理担当）	受注量や販売量 の動き	・先月に引き続き、太陽光発電関連が好調のため、3 月末の決算は利益が昨年度よりも160%ほど改善しそ うである。ただし、建築、土木関連は低調なままであ る。
やや良く なっている		出版・印刷・同 関連産業（情報 企画担当）	受注量や販売量 の動き	・新年度に向けて3月は受注量もかなり増加し、好調 な業績となっている。4月以降も順調な業績が期待で きるかどうかは、少し様子を見る必要があるが、住宅 関連の業界では、今後消費税の問題で販売促進にも期 待が持てる。
		金属製品製造業 （経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・鉄鋼価格の値上げ発表により、市場に活気が出てき ている。
		電気機械器具製 造業（経営者）	それ以外	・円安による影響は非常に大きく、ドル建て取引では 前年比で約20%も収入が増えている。また、海外向け の製品価格を下げるのができたため、今後は成約率 が上昇する。ただし、世間が幾分明るくなってきたこ とは良い傾向であるが、長期的にこのまま良くなる とは到底期待できない。
		電気機械器具製 造業（企画担 当）	受注量や販売量 の動き	・年度末であることも要因の一つであるが、マンシ ョン物件への納品が増加している。
		電気機械器具製 造業（宣伝担 当）	受注量や販売量 の動き	・PM2.5や花粉などの影響で、空気清浄機の売行き が好調である。そのほかの商品も比較的好調な荷動き を示している。
		その他製造業 〔事務用品〕 （営業担当）	受注量や販売量 の動き	・受注量が増加している。
		建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・少しずつではあるが、受注量が増えてきている。土 地の動きも出てきていると感じられる。
		金融業（営業担 当）	取引先の様子	・アベノミクスで円安となり、国内需要も活性化して いる。
		金融業〔投資運 用業〕（代表）	受注量や販売量 の動き	・円安、株高による好影響が出ている。

	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・購読数は伸び悩んでいるものの、減ってもない。折込の月間件数が増えているなど、折込による収益が上向いている。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・紙媒体、インターネット媒体共に、今年になって前年の売上を少しであるが上回っている。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年度末の広告出稿が活発化している。
	コピーサービス業（店長）	受注量や販売量の動き	・高単価サービスの利用が増加傾向にあるほか、来客数も増加しているなど、総合的に良い動きで推移している。客の動向や会話を聞いていても、雰囲気は悪くないと感じる。
	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・小売店での雑貨の販売は、百貨店を中心に前年を超える店が増加している。量販店は実用衣料品を売るため、依然としてどんどん売れるという状況ではないが、以前よりも高額商品が動くようになっている。また、国産のタオルの販売が伸びているため、昨年程度の売上は確保できており、今後は前年比の伸びが期待できそうである。
変わらない	食料品製造業（営業担当）	取引先の様子	・3か月前と比べて取引先の販売価格は下がっているが、販売量に変化はない。メーカーとしては、今後商品の値上げ交渉を図る取引先もある。
	食料品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・気候の寒暖の差が激しいため、行楽気分も盛り上がり、商品の動きがはっきりしない。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・円安になり、原材料などの値上げが予想されているが、製品の動きは増加する見込みがない。
	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注の納期が短くなり、数量も減っているが、ほかに引き合いが出てきており、差引きでは現状維持である。
	金属製品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・原材料価格の値上がりを見越した仮需が少し発生している。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ数か月の動きに比べ、小口の受注は順調であるが、大口の受注が少ないため、横ばいの状況となっている。
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・製造業は一時期よりも良くなってきた気がするが、アベノミクスのムードほど良くはなっていない。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注、売上共に伸びていない。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・今の繁忙は、年度末で忙しくなっているだけである。
	輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内の設備受注は相変わらず低調であり、海外での受注が売上を左右する状況にある。
	建設業（経営者）	競争相手の様子	・工賃や建設資材価格が高騰しても、相変わらず激しい価格競争が続いている。原価の高騰と価格競争の両方に苦しんでいる。
	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・公共工事の落札金額が低過ぎて利益が出ない。損をしてまで行くとすれば慈善事業である。
	輸送業（商品管理担当）	競争相手の様子	・インターネットで購入している人が多く、荷物の量が増えている。
	輸送業（営業所長）	受注量や販売量の動き	・年度末で商品は動いているが、4月になると急激に荷動きが悪くなる。
	通信業（管理担当）	それ以外	・市場での購入状況が活発である。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・景気が良くなるとの期待感が、早くも減退している中小製造業の経営者が多い。政策の恩恵を受けるのは、為替差益が生じる大企業のみという警戒感が出てきている。
	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	取引先の様子	・仕事はあるが、利益率が悪い。
	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・薬局、ドラッグストアは、季節商材（花粉症など）の売行き好調により堅調に推移している。それに対して、早期クリアランスセールを実施した衣料雑貨店舗は、売れる商品がなくて大幅ダウンとなっている。一方、今冬の厳しい寒さを示すように、ドリンクバーではコーヒーや紅茶よりもスープの売上の方が高くなっている。

	その他非製造業 〔機械器具卸〕 (経営者)	取引先の様子	・海運関係の得意先が多いが、円安、株高で大手企業は決算の内容も良くなっている一方、中小企業はいまだに状況が変わっていない。	
やや悪くなっている	食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・春になり、量販店の棚も春夏商品に入替わってきたが、まだまだ気候が安定していないせいか、全体的な動きはまだまだである。一部では物が動いているといわれているが、食品業界全体では大きな動きは感じられない。景気に大きく左右されない業界であり、良くも悪くも世間の景気からは数年遅れるという特徴もある。	
	繊維工業(団体職員)	受注量や販売量の動き	・年明けの1～3月は、タオルの需要が低迷している。	
	繊維工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・販売数量が伸びていない。前年であればこの時期に弾みをつけるところであるが、エンドユーザーがゆとりを感じていないため、消費はまだまだ控え目である。反応の遅い業界だけに、商品を気に入ってもらうためにも工夫していきたい。	
	輸送業(営業担当)	取引先の様子	・例年に比べ、売上が落ち込んでいる。	
	不動産業(営業担当)	取引先の様子	・関東方面に出て行く解約が多く、入居が決まらない。そういった動きから、多少景気が悪くなる。	
	広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・郊外のショッピングセンターでは、気温が上がって来客数は増えているが、売上は前年割れが続いている。客単価も伸びていない。	
悪くなっている	繊維工業(総務担当)	それ以外	・急激な円安により、中国からの仕入コストが大幅に増加したため、利益の圧迫につながっている。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
(近畿)	やや良くなっている	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・今まではインフラ関係や不動産、生命保険、介護関係など、家電メーカー以外の業種は良かったが、ここへきて円安などで電機大手が息を吹き返してきており、雇用の改善もみられる。ただし、需給のバランスはまだまだ改善しておらず、人を集めるにもなかなか適材適所の人材がいらないというアンバランスな状態が崩れていない。
		人材派遣会社 (役員)	求人数の動き	・求人数が確実に増加している。
		人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・求人数は堅調に推移しているように感じる。一方、インターネットの派遣サイトへの応募件数は前年比で10%程度増えているが、良い人材は争奪戦となっており、登録会への参加のキャンセルは前年比で5%程度増えている。
		人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・景気が回復傾向にあり、受注がかなり増えてきている。
		アウトソーシング企業 (社員)	それ以外	・保育園の給食事業の委託を受けているが、新年度に向けてパソコンを使ったオンラインシステムに移行することが増え、作業負担が軽減している。
		新聞社〔求人広告〕 (管理担当)	求人数の動き	・求人数の動きは今月も安定的に増加しているため、景気は上向いている。
		新聞社〔求人広告〕 (担当者)	それ以外	・新聞広告の動きをみると、前年比で108%となっており、特に地元企業からの動きが活発になっている。
		新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	求人数の動き	・新聞の求人広告量でみると、幾分上向きになってきたように思われる。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人件数が増加傾向である。
		民間職業紹介機関(職員)	求人数の動き	・建設労働者不足という問題がありながらも、建設部門が中心の日雇い求人数は幾らか増えている。
		民間職業紹介機関 (大学担当)	採用者数の動き	・一時的な動きかもしれないが、経済の回復基調により企業の採用動向もプラスに転じてきており、今後期待がかかる。
		民間職業紹介機関 (営業担当)	周辺企業の様子	・採用数を増やす企業が増えている。
		学校〔大学〕 (就職担当)	求人数の動き	・医療系であるからかもしれないが、卒業後の学生向けの追加求人が増えている。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	求人数の動き	・新聞広告での求人には、それほど変化はない。新聞社と就職情報誌の資本提携のように、新聞の求人広告は変わってきており、今後はインターネット、イベント、チラシとの連携が進んでくる。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は13か月連続で前年を上回ったが、正社員求人は微増にとどまり、パート求人の大幅な増加に支えられている。前月に好調であった製造業、建設業、運輸業からの求人が減少に転じるなど、前月からの反動減がうかがえる。また、新規求職者数がやや増加傾向を示しており、景気は期待したほど良くなっていないという印象である。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増えているが、パート求人の増加が中心で、正社員求人が増えていないため、景気が上向きとはいえない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の動きについては、医療・福祉、建設業、宿泊・飲食サービス業からの求人は増加しているが、製造業からの求人は大きく減少している。
	学校〔大学〕 （就職担当）	雇用形態の様子	・求人はあるが、正規雇用ではなく、期間限定社員や契約社員の募集が依然として多い。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-